

### 13. 自由意見

- 常用者数だけをみて、雇用人数が算出されているが、数人の事業場と200人の事業場では負担が違う。そのあたりの配慮がある制度であってほしい。
- （行政サイドからは）障害者雇用の達成率や提出物に関する厳しい口調は見受けられるものの、そもそもPRがきいていないと思う。
- 行政を経由すると条件や手続きが面倒なので、支援事業所を利用したい。
- 専門的資格・免許を必要としており、現時点では雇用は厳しい。
- 特定の業務に携わるには国家資格等が必要なので、そうした教育もお願いしたい。
- 健常者であっても決められたルール等を守らなければ危険が伴うことから、一人一人の詳しい状況が分からなければ雇用は難しく感じる。自社の改善にも限度があるため、ハードルが高くなっている。
- 障害者雇用をしたいが、「単純な作業」がないため、悩んでいる。
- 過去の障害者雇用時に課題を感じた（協調性や周囲への気遣いといった点）。
- 過去に障害者を雇用したが、従業員とコミュニケーションが取れずに孤立し、退職してしまった。従業員の中にも受け入れる者が少なかったように思われる。
- お客様からの仕事を請けている企業としては、対応が難しい。
- 雇用する企業向けのセミナーや就職面談会等の実施をしてほしい。
- どんな障害種の人が、どんな業種や職種で活躍されているのかについて、具体的な状況・内容を情報提供してほしい。
- 実習や雇用企業見学会等に参加したが、製造業向けが多かった。情報サービス業（SE等の専門職）向けのセミナーの開催や情報発信もお願いしたい。
- 就労前後における障害者の支援体制を考えていただきたい。企業、市、本人を巻き込んだ問題解決が必要と考える。
- 入社後のフォローアップの充実
- 企業とのマッチング
- 飲食業や農業など、今後人手が足りなくなると思われる業界とのマッチングを進めるべき。商工会等を通じ、職場体験などを推進するべき。仕事の内容によっては、障害者の方が健常者以上の生産力を発揮することができることを知ってもらう必要がある。助成金等がなくても、企業としても労働力としてメリットがあると考えている。
- 特別支援学校やその他の障害者の教育機関の一覧、取組内容等をまとめたパンフレットがあるとよい。
- 施設・企業として協力できることは是非依頼してほしい。
- このようなアンケートを取って積極的に取り組む姿勢は素晴らしい。
- 推進に関しては大賛成。むしろ遅れているのではないかと思う。
- 障害者の社会とのつながりの重要性を伝えて、障害者が安全な生活を送る環境の手助けをお願いしたい。
- ダイバーシティを推進しており、障害者雇用にも社会的貢献として推進していくつもり。
- 中小企業同友会やバリアフリー委員会においても、一人でも多くの障害者の就労を望み、共に学んでいる。雇用を推進できるよう、教育にご尽力いただきたい。

## 北九州市の特別支援教育に関する調査（企業向け）

1. 貴社に該当する主な業種の選択肢の番号を赤色で塗りつぶしてください（1つだけ）。「⑪その他」を選択した場合には、括弧内に簡潔に記載してください。  
また、従業員数についても該当の選択肢の番号を赤色で塗りつぶしてください（1つだけ）。

### 主な業種

①農業・林業・漁業	②製造業	③サービス業	④医療・福祉関係
⑤卸売・小売・飲食業	⑥運輸・通信業	⑦建設業	⑧不動産業
⑨情報関連業	⑩鉱業	⑪その他（ ）	

### 従業員数（常用労働者※）

※「常用労働者」とは、次のうちいずれかに該当する労働者を指します。

- (1) 期間を決めず、又は1ヵ月を超える期間を決めて雇われている者  
 (2) 日々又は1ヵ月以内の期間を限って雇われている者のうち、前2ヵ月にそれぞれ18日以上雇われた者

①50人未満	②50人以上～100人未満
③100人以上～200人未満	④200人以上

2. 貴社では、障害のある方を雇用したことがありますか（正規、非正規問わず）。該当する選択肢の番号を赤色で塗りつぶしてください。「①はい」と回答された場合には、下表からこれまで雇用した方の障害種の番号を赤色で塗りつぶしてください。また、障害者の雇用をどのような方法で行ったか選択してください。

①はい → 下表から該当障害種を選択してください。	②いいえ
---------------------------	------

### 障害種（重複している場合は複数選択可）

①身体障害 （肢体不自由）	②身体障害 （視覚障害）	③身体障害 （聴覚障害）	④身体障害 （内部障害）	⑤知的障害
⑥精神障害	⑦発達障害	⑧その他（ ）		

### 雇用方法

①ハローワークを通じて雇用	②北九州障害者しごとサポートセンターからの紹介
③就労移行支援事業所からの紹介	④学校（ ）からの紹介
⑤その他（ ）	

3. 2. で「②いいえ」と回答された場合、障害のある方の雇用に当たり、どのような課題があると感じられますか。差し支えない範囲で結構ですので、該当する選択肢の番号を赤色で塗りつぶしてください（複数回答可）。「⑧その他」を選択した場合には、括弧内に簡潔に記載してください。

①障害者を雇用した経験がなく、漠然と不安	②就労後の生活管理が必要なのではないか。	③障害者雇用の制度がよくわからない。
④就労後、仕事に定着してくれるかが心配	⑤経営上、障害者を雇用もしくは育成する余裕がない。	⑥どんな仕事に適しているのかがわからない。
⑦仕事内容が特殊（高い専門性を要するなど）であるため、障害者の雇用が難しい。	⑧その他（ ）	

次ページあり



**10. 特別支援学校等においては、障害者の就労支援の充実に努めています。障害者を雇用する場合に、企業として学校教育に期待することはどういったことですか。該当する選択肢の番号を赤色で塗りつぶしてください（複数回答可）。「⑩その他」を選択した場合には、括弧内に簡潔に記載してください。**

- \* 「協調性」とは、他者と協力して業務をこなす能力等を指す。
- \*\* 「専門性」とは、企業が携わる事業分野の専門的知識やパソコンなどを使いこなす能力等を指す。
- \*\*\* 「生活力の向上」とは、一人で通勤できること、買い物ができることなどの基本的な生活能力等を指す。

①基本的な生活習慣の指導	②協調性*	③責任感の強さ
④専門性**	⑤高い就労意欲の醸成	⑥体力づくり
⑦手先の器用さ	⑧金銭管理	⑨生活力の向上***
⑩その他（ ）		

**11. 今後、本市が障害のある特別支援学校の生徒たちの実習先や就労先を開拓するためのセミナーを開催する場合、参加したいと思われますか。該当する選択肢の番号を赤色で塗りつぶしてください（1つだけ）。**

①是非参加したい。	②参加したい。	③わからない。	④関心がない。
-----------	---------	---------	---------

**12. 本市は、軽度の知的障害の生徒を対象とした特別支援学校「北九州中央高等学園」を設置しており、障害のある生徒の企業就労を進めるため、産業現場等での実習、働く場所・体験する場所の開拓を進めています。当該校の取組等についてご存知ですか。該当する選択肢の番号を赤色で塗りつぶしてください（1つだけ）。**

①よく知っている。	②少し知っている。	③初めて知った。	④関心がない。
-----------	-----------	----------	---------

**13. 今後、本市が特別支援教育や障害者雇用を推進するに当たり、ご意見等がございましたらご記載ください。**

ご協力ありがとうございました。